

平泉ナンバー発進!!

～11月17日「平泉ナンバー」が走り始めました～



11月17日、平泉ナンバー交付お披露目会が中尊寺金色堂前で行われました。お披露目会には、「平泉ナンバーを実現する会」の宇部貞宏会長(一関商工会議所会頭)をはじめ、一関市、奥州市、金ケ崎町、平泉町の市町長らが出席。平泉ナンバーを取り付けた4市町長と県南広域振興局長の公用車5台がお披露目され、平泉ナンバーの誕生を祝いました。



また11月22日には、役場駐車場を会場に平泉ナンバー出張交換会が行われ、事前に申請していた町民ら100人が愛車のナンバーを「岩手」から「平泉」に変更しました。

ナンバーを交換した人は「署名の取り組みなど平泉ナンバーの実現に向けて協力してきたので感無量だ。大都会を平泉ナンバーを付けた車が走れば大きな宣伝になると思う」(長島・男性)、「平泉の名を付けて運転することになるので、交通マナーに気をつけたい。平泉のPRとあわせて、交通マナーの意識向上につながれば」(平泉・女性)と話していました。

いよいよ走り始めた「平泉ナンバー」。地域の活性化につながるだけでなく、動く広告として、全国に平泉をアピールしていきます。



ナンバー交換をした愛車を前に(写真上)/愛車に平泉ナンバーを取り付けるドライバー(写真下)



平成26年度 町勢功労者表彰



平成26年度町勢功労者表彰式が「文化の日」の11月3日、役場会議室で執り行われました。

本年度の受賞者は、丸山訓さん(20区)、千葉征紀さん(15区)、岩瀬善二さん(14区)、佐々木清一さん(18区)の4人。

丸山さんは町交通指導隊員としての活動が認められ、地方自治功労賞を受賞。千葉さんと岩瀬さん、佐々木さんは町消防団員としての活動が認められ、消防功労賞を受賞されました。

関係者約50人が出席した表彰式で、青木町長が式辞を述べ、表彰状と記念品を贈呈。受賞者を代表して丸山さんが謝辞を述べました。



▶受賞者を代表してあいさつを述べる丸山さん

地方自治功労



丸山 訓さん

昭和62年2月に町交通指導隊員に就任以来、27年余りの永きにわたり交通指導隊員活動に精勤しました。

また、平成14年4月からは隊長として隊員の育成に努め、安全思想の普及に寄与されました。

消防功労



岩瀬 善二さん

昭和47年4月に町消防団員を拝命以来、平成10年4月から副分団長、16年4月からは分団長を歴任。23年3月に退団されるまでの39年の永きにわたり、職責を自覚し消防業務に精進すると共に、地域消防の発展に寄与されました。

消防功労



千葉 征紀さん

昭和38年2月に町消防団員を拝命以来、平成8年8月から副分団長、10年4月からは分団長を歴任。16年3月に退団されるまでの41年余りの永きにわたり、職責を自覚し消防業務に精進すると共に、地域消防の発展に寄与されました。

消防功労



佐々木清一さん

昭和46年4月に町消防団員を拝命以来、平成17年4月から副分団長、19年4月からは分団長を歴任。21年3月に退団されるまでの38年の永きにわたり、職責を自覚し消防業務に精進すると共に、地域消防の発展に寄与されました。

文化審議会が「さくら山」の名勝追加指定を答申

11月21日、文部科学大臣の諮問機関である文化審議会文化財分科会は、名勝「おくのほそ道の風景地」として、当町の「さくら山」を名勝に追加指定するよう答申しました。

これにより、町内の国指定名勝は5カ所(3件)となります。

文化財の所在地と面積

▽さくら山：平泉町長島字山田51番地452ほか4筆 19万3160平方メートル 平泉町所有地



追加指定されることになった「さくら山」

名勝 「おくのほそ道の風景地」

歌枕の名所および由緒地を訪ねて東北・北陸地方を旅した松尾芭蕉が、自らの俳句を織り交ぜて紀行文学として編んだ「おくのほそ道」に登場する一群の風致景観。ひとつの作品を通じて後世の人々の風景観に影響を与え続け、今なお「おくのほそ道」時代の雰囲気と遺風を伝えていきます。個別に評価するとともに相互の繋がりのあるものとして評価すべき一帯の風致景観です。

平成26年3月18日に「おくのほそ道の風景地」として当町の「金鶏山」と「高館」を含む13カ所が名勝に指定され、10月6日に5カ所が追加指定されました。今回はさらに準備が整った7カ所(うち1カ所は既指定地に範囲を追加)を追加指定し、保護するものであり、県内では平泉町に所在する「さくら山」が指定対象となりました。(文化庁資料より一部抜粋)